

平成24年度第1回岡山県立博物館協議会議事録（要旨）

日時 平成24年8月22日（水）14:25～16:06
会場 岡山県立博物館 講堂
出席者 委員：谷川副議長、小森委員、市坂委員、藤江委員、門野委員、
長江委員、岡本委員、吉本委員、高谷委員、江見委員
博物館：田村館長、島崎副館長、赤木総務課長、鈴木学芸員（副参事）、信江学芸員（主幹）、
竹原主幹、佐藤学芸員（主任）、國政主任、和田学芸員（主任）、瀧元主任
文化財課：嶋田参事
欠席者 武本委員、宇野委員、藤實委員、久野議長、原田委員

- 1 開 会
- 2 開会あいさつ
田村館長あいさつ
谷川副議長あいさつ
- 3 岡山県立博物館協議会の公開決議について審議
公開で行うことを議決
- 4 協議・報告事項
 - (1) 平成24年度事業について
 - ア 展覧会
 - イ 教育普及事業
 - ウ 入館状況
 - (2) 平成25年度事業（案）について
 - ア 展覧会
 - イ 新規事業
 - (3) 長期展覧会計画（案）について
 - (4) 中期目標の一部見直しについて
 - (5) 中期目標の達成状況について
 - (6) その他

委員からの意見・提案

- ①小さい紙面や記事でも継続してPRすることが大切である。入館者数が評価の対象になるため、何か貢献できればと考えている。
- ②企画展などにおいて、「友の会」の法人会員に協賛をお願いし、クリアファイルなどの記念品を作成し、入館者に先着でプレゼントするなどの検討ができないか。1社1万円程度なら可能だと思う。
- ③冷房設備の故障による収蔵資料への影響はどうか。
- ④中期目標の達成状況は、評価「1」が多い。財政が厳しい状況もあるが、特に、平常展のPRについて、いつも同じことをしていたのでは駄目だ。少しでも内容を変えてPRし、もっと県民の方に関心を持っていただく工夫が必要ではないか。
- ⑤アンケート回収率が上がっていない。アンケートを楽しい雰囲気を書けるよう、また、博物館への親密感を増すことにもつながるため、アンケート回答者にプレゼントをすることが検討できないか。
- ⑥特別展・企画展・平常展・交流展という展覧会名の意図が県民には分かりにくい。平常展という名称はいかがなものか。
- ⑦平常展の18千人入館目標は非常に厳しいと感じている。常時、展示を入れ替えながら県民に少しでも多く入館していただくよう、工夫をお願いしたい。
- ⑧幻想庭園の期間中、夜間の開館は検討できないか。
- ⑨教職員研修について、教育センターや岡山・倉敷市教委、中教研等へ協力を呼びかけてはどうか。
- ⑩入館した幼稚園の子どもたちに簡単な塗り絵をもらい、期間限定で平常展の期間中展示してはどうか。
- ⑪主婦の感覚では、こんな立派なチラシでなくても良いと思うが。
- ⑫事業を精選した上で、対象を限定した事業をする一方、広報について浅く広くできるように生涯学習などのコーナーに設置すればどうか。
- ⑬映像記録が貸し出しできるようにお願いしたい。
- ⑭子どもが作成したものを展示できる事業ができれば、家族での入館増も期待できるのではないか。